

第3回 安中市庁舎に関わる市民懇談会

次 第

日時 令和2年8月25日（火）

午後6時30分から

会場 安中市役所本庁舎

3階 第305会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 庁舎に関わる現状把握（続2）

(2) 市役所庁舎の機能に何を求めるか
・意見交換

4 その他

・次回の会議日程について

（日時：令和2年9月29日（火）午後6時30分から2時間程度）

（場所：安中市役所本庁舎3階 会場調整中）

5 閉 会

【配布資料一覧】

- 1 次第
- 2 出席者名簿
- 3 庁舎に関わる現状把握（続2）
- 4 各種事例からの視座補足・訂正資料
- 5 意見交換メモ用紙

第3回安中市庁舎に関わる市民懇談会委員 出席者名簿

日時：令和2年8月25日（火）午後6時30分から 場所：本庁舎3階第305会議室

（敬称略）

	氏名	所属団体等	備考	出欠
1	小川 博	安中市区長会 岩野谷地区代表区長	副会長	出席
2	吉田 茂	安中市社会福祉協議会 会長		出席
3	河井 香織	安中市PTA連合会 理事		出席
4	小林 和樹	安中市商工会 会員		出席
5	高橋 正章	安中市松井田商工会 会長		出席
6	前島 正樹	安中青年会議所 理事長		出席
7	佐俣 利幸	連合群馬西部地域協議会 副議長		出席
8	三好 建正	一般社団法人群馬建築士会安中支部 支部長		出席
9	恩幣 宏美	安中市行政改革審議会 委員		（欠席）
10	竹内 佳重	安中市景観計画策定委員会		出席
11	半田 樹衣	公募市民委員（群馬大学社会情報学部社会情報学科）		出席
12	藪 ほの郁	公募市民委員（高崎経済大学地域政策学部）		出席
13	久米 史可	公募市民委員		出席
14	三辻 茂	公募市民委員		出席
15	石井 清和	公募市民委員		出席
16	小竹 裕人	群馬大学社会情報学部 准教授	会長	出席
17	北野 敦則	前橋工科大学工学部建築学科 准教授		出席
18	大石 祐子	（懇談会設置要綱第3条第2項第4号）		出席

（予定）出席者17人 欠席者1人

事務局	阿部 哲也	総務部長
	田中 秀人	総務部企画課長
	大野 祐司	総務部企画課企画調整係長
	金田 佑介	総務部企画課企画調整係主任
	櫻井 裕一	建設部建築住宅課長
	田嶋 龍一	建設部建築住宅課建築係長
オブザーバー	大山 詠司	総務省地域力創造アドバイザー （事業創造株式会社代表取締役社長）

庁舎に関わる現状把握（続2）

-前回（第2回）の宿題と補足-

- 1 人口規模に対する適切な職員数
- 2 合併特例債を借りる場合の将来負担額
- 3 プレハブ仮設庁舎の費用
- 4 公民館の耐震性能と光回線の配備状況
- 5 西毛広域幹線道路の計画交通量
- 6 現在地周辺の用途地域図

2020.8.25 安中市企画課

1

1 人口規模に対する適切な職員数(1/3)

- 類似団体：全国の市町村を①人口規模、②産業構造別にグループ化したもので職員の定員適正化の一つの目安

安中市は次のグループ

- ①人口：5万人以上10万人未満の一般市
(町村は含まない)
 - ②産業構造：2次産業（工業・建設業など）と3次産業（商業・金融・サービス業など）を合わせて90%以上、かつ3次産業65%未満の団体
- 類似団体数：88団体／一般市687団体中

2

1 人口規模に対する適切な職員数(2/3)

2019年度の類似団体との比較

- 安中市の市民1万人当たりの対象職員数は、**71.90人**。
※対象職員とは、公営企業等の職員(公立病院、水道事業など)を除く
普通会計の職員のみのため、実際の職員数より少ない
※対象職員数418人、住基人口58,139人(2019.1.1)から算出
- 類似団体平均の市民1万人当たりの対象職員数は、**73.93人**

⇒類似団体の平均より安中市は職員数がやや少ない。

(類似団体のうち県内市比較)

自治体名	1万人当たり 対象職員数	住基人口 (2019.1.1)	面積(km ²)	対象職員数
藤岡市	61.50人	65,687人	180.29	404人
みどり市	68.11人	50,797人	208.42	346人
安中市	71.90人	58,139人	276.31	418人
館林市	74.75人	76,254人	60.97	570人
渋川市	83.12人	77,838人	240.27	647人

3

1 人口規模に対する適切な職員数(3/3)

単純に安中市の市民1万人当たりの対象職員数を基に推計すると、

- 人口**5万人**に対し**360人** (2019年度比較：約14%減)
4万人に対し**288人** (約31%減)
3万人に対し**216人** (約48%減)

ただし、

増加要因：市民ニーズの多様化による新制度の創設や
国・県からの権限移譲

減少要因：IT、AI技術の推進による業務の機械化、
公共施設等の再配置など

その他要因：働き方改革の推進や将来的な定年延長など

⇒将来の適切な職員数は増減要因の影響も大きい

4

2 合併特例債を借りる場合の将来負担額(1/2)

- 市町村の庁舎の整備に必要な多大な事業費は、主に **基金・起債・市税など** (寄付金や部分的に国・県補助金もあり)で賄うことが考えられます。

基金

- 今までの世代の負担分 (市の貯金)
- (庁舎建設基金、地域振興基金)

起債

- 将来世代の負担分 (市の借金)
- (**合併特例債**、**一般事業債**)

市税_{など}

- 現在 (主に建設中) の世代の負担分
- (基金、起債の対象事業費以外の部分など)

5

2 合併特例債を借りる場合の将来負担額(2/2)

○30年ローン、利率0.50%で合併特例債を借りた場合 (100万円未満四捨五入)

・ 10億円の場合	
返済額 (利子含む)	約3,600万円/年
交付税計算額 (返済額の70%)	約2,500万円/年
実質負担額	約1,100万円/年

・ 20億円の場合	
返済額 (利子含む)	約7,200万円/年
交付税計算額 (返済額の70%)	約5,000万円/年
実質負担額	約2,200万円/年

・ 30億円の場合	
返済額 (利子含む)	約10,800万円/年
交付税計算額 (返済額の70%)	約7,600万円/年
実質負担額	約3,200万円/年

※交付税計算額は国からのおこづかい

6

3 プレハブ仮設庁舎のリース費用(1/2)

(参考) 他自治体の仮設庁舎リース費用(各HP掲載内容から抜粋)

自治体名	延床面積 (㎡)	階数	構造	リース費用	リース期間
埼玉県蕨市	2,490	3階建	鉄骨造	約3.2億円	42ヶ月間
埼玉県桶川市	3,587	3階建	鉄骨造	約2.96億円	42ヶ月間

- ・地盤の強度や面積、リース期間などにより費用はケースバイケース
- ・一時的に、他の公共施設や民間の空き施設（賃貸借）が利用できれば、仮設庁舎が不要または延床面積を小さくできる可能性もある。

7

3 プレハブ仮設庁舎のリース費用(2/2)

庁舎と校舎で違いがあり一概には参考にできないのですが・・・

(参考) 市内小・中学校仮設校舎のリース費用と引越費用

施設名	延床面積 (㎡)	階数	リース費用	リース期間	引越費用	実施年度
東横野小学校	1485	2階建	約5,653万円	8ヶ月間	約924万円 (2回分)	H25
松井田南中学校	約2192	2階建	8,148万円	8ヶ月間	約776万円 (2回分)	H25
第一中学校	約2163	2階建	約8642万円	18ヶ月間	約1,293万円 (4回分)	H25 H26

8

4 公民館の耐震性能と光回線の配備状況(1/2)

	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度
1	安中公民館	安中	502	H4(1992)
2	原市公民館	原市	467	S60(1985)
3	磯部公民館	磯部	414	S59(1984)
4	東横野公民館	鷺宮	373	S61(1986)
5	岩野谷公民館	岩井	373	S59(1984)
6	板鼻公民館	板鼻	373	S62(1987)
7	秋間公民館	中秋間	373	H1(1989)
8	後閑公民館	中後閑	373	S62(1987)
9	松井田公民館／松井田・新堀地区生涯学習センター (松井田文化会館内)	松井田町 新堀	912	H7(1995)
10	臼井地区生涯学習センター (農業研修センター内)	松井田町 五料	203	S54(1979) ※Dランク
11	坂本・入牧地区生涯学習センター (坂本公民館内)	松井田町 坂本	187	H27(2015)
12	西横野地区生涯学習センター (西横野定住センター内)	松井田町 二軒在家	352	S61(1986)
13	九十九地区生涯学習センター	松井田町 国衙	455	H27(2015)
14	細野地区生涯学習センター (細野ふるさとセンター内)	松井田町 土塩	780	H7(1995)

※昭和56(1981)年以降は新耐震基準に基づき建築
されているので耐震性能は問題ないと思われる

(小数点以下切捨て)

9

4 公民館の耐震性能と光回線の配備状況(2/2)

○営業時間 : 平日8:30~17:15

(土日祝、年末年始休み。松井田公民館を除く)

○現在の人員 : (公民館) 3~4人体制

(生涯学習センター) 1人体制 (金曜日のみ2人)

○光回線等インフラ

・現在いずれの施設も光回線 加入済み。

・ただし住民票の写しの交付などには専用端末の設置と回線の追加が必要となるので、初期設置費用と維持費が追加が必要。

C f. コンビニ交付

・全国の最寄りのコンビニエンスストア等のキオスク端末を使って、住民票の写しなどの取得が可能に (マイナンバーカードが必要)

・毎日6:30~23:00まで利用可能。


・市民サービスが向上し、職員の窓口業務量の軽減が図れる一方で、市はサーバー構築費や委託手数料などの負担が追加が必要。

・県内では8団体/35市町村が参加中 (2020.7.15現在)

10

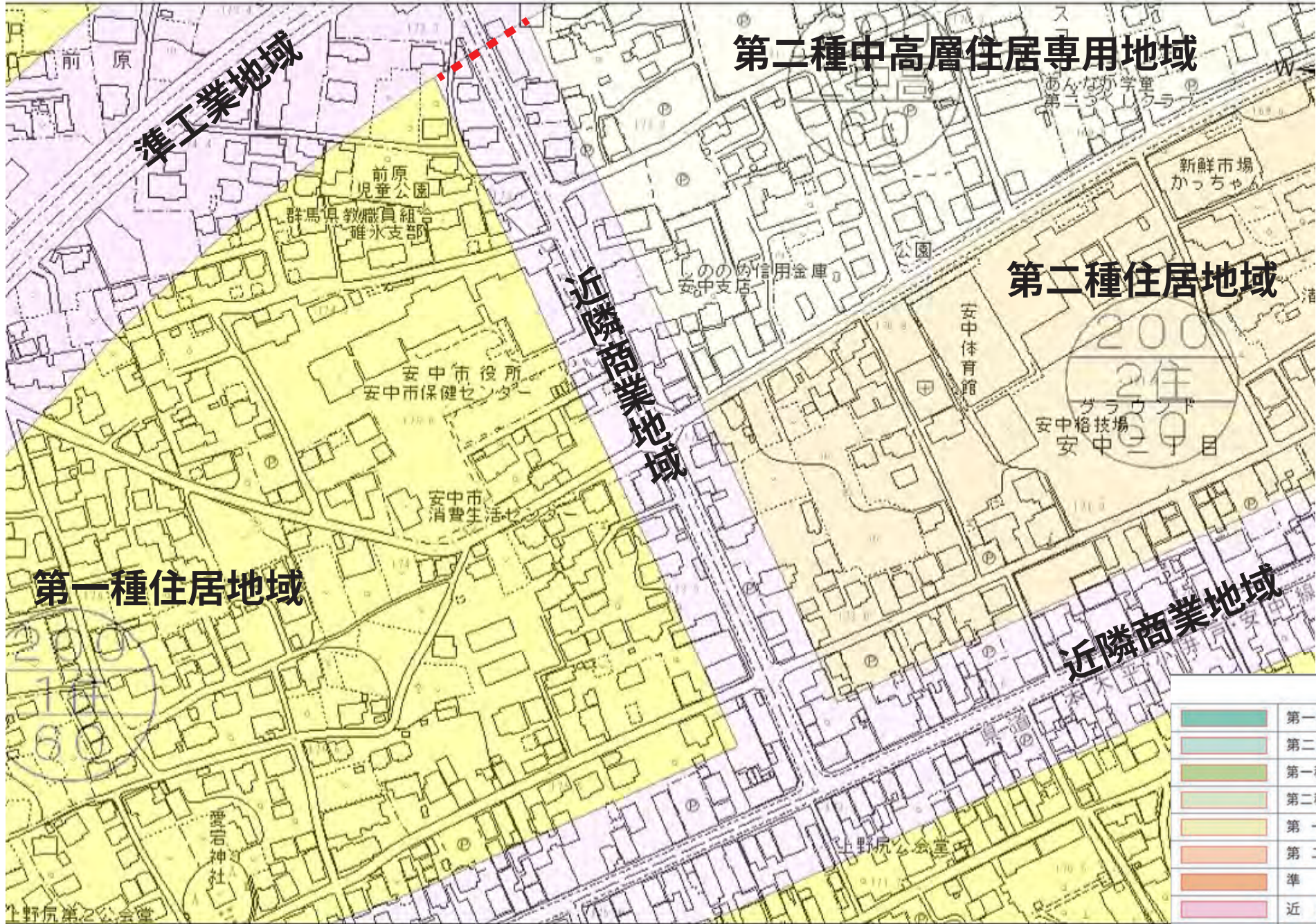
5 西毛広域幹線道路の計画交通量

群馬県県土整備部作成：よくわかる公共事業
「令和2年度西毛広域幹線道路
(安中富岡工区) バイパス整備事業」より
↑現在地周辺

- 全体事業費：約148億円（延長6.3km）
- 事業期間：2016年度～2027年度（12年間）
- 現在の交通量(H27)：5,039台/日（現道_自動車）
 - ： 8人/12時間（現道_歩行者）
 - ： 47台/12時間（現道_自転車）
- 計画交通量（R12） 8,800台/日（バイパス_自動車）
 - ： 1,500台/日（現道_自動車）

約1.75倍
増加

【市役所周辺用途地域図】



黄色：第1種住居地域（現在地） 薄橙色：第2種住居地域（旧安中高校） 薄緑色：第2種中高層住居専用地域
 薄桃色：近隣商業地域 薄紫色：準工業地域

	建ぺい率 (%)	容積率 (%)
第一種低層住居専用地域	40 50 60	80 100
第二種低層住居専用地域	40 50 60	80 100
第一種中高層住居専用地域	50 60 60	100 200
第二種中高層住居専用地域	50 60 60	100 200
第一種住居地域	60	200
第二種住居地域	60	200
準住居地域	60	200
近隣商業地域	80	200 300
商業地域	80	200 300 500
準工業地域	60	200
工業地域	60	200
工業専用地域	50 60	200

第3回安中市庁舎に関わる市民懇談会 意見交換メモ用紙

【第3回の意見交換の内容と進め方（小竹会長からのご提案）】

・今回は次の(1)から(7)までの庁舎に求める機能を中心に、できる限り全項目について、より多くのご意見をいただきたいと思います。

※自由に、限界を設定せずにお考えください。

※前回発表いただいた大山アドバイザーの事例と重複しても構いません。

※いただきましたご意見・アイデアは、懇談会の提言書を提出した以降、懇談会の後の会議等で更に議論してまいります。

※建設する時の工夫(PFIや仮庁舎の要否など)は、懇談会の後の会議等で具体的に検討してまいります。

・安中市役所の庁舎として、どの機能を中心とするかについて懇談会の中である程度明確化していきたいと思えます。

(1)市民が使いやすくするための機能

注：積極的な市民参画（NPOの充実。自分たちでできることは自分たちで）により市役所の役割のスリム化も達成できる。

(2)災害時に対応する機能

(3)感染症に対応する機能

--

(4)市民間で交流する機能

--

(5)今後の状況変化に対応する機能

--

(6)財政負担を軽減できる機能

--

注：建設時の工夫として PFI（民間の資金・ノウハウを活用し、効果・効率的な公共サービスを提供する手法）があるが、追加的に2年程度の検討期間が必要となり、そもそも PFI が庁舎建設では成り立たない可能性は高い。しかし、PFI が馴染まないからといっても公費投入を減らす努力は続けるべき。賃貸スペースが空きスペースにならないよう留意。

(7)その他

--